

教育委員会会議録（11月定例会）

日 時

平成30年11月29日（木）
午後2時30分から午後3時10分まで

場 所

日立市役所 庁議室

出席委員

教育長	中山 俊恵
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	土屋 静治

委員以外の出席者

教育部長	窪田 康德
総務課長	松本 正生
学校施設課長	石川 渉
学校施設課課長（新調理場建設担当）	佐藤 行男
学務課長	中島 修
学務課課長	鈴木 伸治
生涯学習課長	飯塚 優
スポーツ振興課長	木下 俊雄
指導課長	折笠 良平
指導課課長	稲田 訓子
郷土博物館長	豊田 瑞穂
記念図書館長（兼）視聴覚センター所長	山田 美幸
教育研究所長	勝間田 忠彦
宮田調理場長	荒川 敏明
総務課課長補佐（兼）庶務係長	鷺 秀哉
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	酒地 康彦
総務課主幹	吉野 成実
総務課主幹	芳賀 秀人

議 事

報 告

報告第11号 教育委員会10月定例会の会議録について

議 案

議案第40号 平成30年度教育委員会12月補正予算の提案について

その他

- (1) 学校及び児童生徒の表彰等について
- (2) NPO法人日立理科クラブの読売教育賞受賞について
- (3) 日立風流物展示施設等整備検討委員会の進捗状況について
- (4) 教育委員会関連行事等について
 - ア 家庭教育講演会について

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 それでは、只今から11月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、傍聴希望者が1人おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 1 1 号 教育委員会10月定例会の会議録について

教 育 長 それでは、まず、報告第11号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 議 案

議 案 第 4 0 号 平成30年度教育委員会12月補正予算の提案について

教 育 長 それでは次に、議事に移ります。
議案第40号について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長 平成30年度教育委員会12月補正予算について、提案するもの
です。

まず、教育委員会が所管する事務事業に係る予算です。

歳入につきましては、「21款・市債」を6億1,220万円増額し、補正後の額を、25億9,308万9千円とするものです。

歳出につきましては、「10款・教育費 1項・教育総務費」で、605万5千円の減額、「2項・小学校費」で5億6,139万4千円の増額、「3項・中学校費」で3億1,267万5千円の増額、「5項・社会教育費」で1,164万8千円の増額、「6項・保健体育費」で2,494万3千円の増額、合計で9億460万5千円を増額し、補正後の額を78億2,865万3千円とするもので

す。

続きまして、補正予算の内訳についてです。

まず「1 歳入歳出予算」です。

事務局費における「職員人件費」、「十王図書館運営経費」につきましては、人事異動及び人事院勧告に係る人件費等の整理などに伴う減額補正となります。

「医療的ケア支援事業費」については、特別支援学校において、医療的ケアが必要な児童生徒数が増えたことから、7月1日から看護員を1名増やし、4人体制にしたことに伴うもので、121万5千円を増額しております。

次に、小学校管理費、中学校管理費における「職員人件費」については、当初予算では計上していない空調設備、エアコン設置工事に係る事務に関する時間外勤務手当の増によるものです。

次に、小学校管理費、中学校管理費の「運営経費」は、この夏の猛暑によりエアコンの使用が増え、電気代とガス代が増えたことに伴い、当初予算に不足が生じるため、合計で401万円を増額するものです。

次に、小学校管理費の「空調設備整備事業費」の補正額5億7,100万円、中学校管理費の「空調設備整備事業費」の補正額3億90万円は、全教室へのエアコンの設置を来年6月下旬までに進めるもので、工事費と工事監理業務委託として、それぞれ増額するものです。

次に、「新入学児童用ランドセル購入事業費」は、ランドセルの単価が、7,800円から700円値上がりし、8,500円となったことに伴う不足分で、約1,200個分、96万3千円を増額するものです。

次に、「日高小学校校舎改築事業費」は、基本・実施設計業務委託の契約差金の整理で、1,280万円を減額するものです。

次に、「施設整備事業費」は、多賀中学校屋内運動場のトイレ改修工事で、1,380万円の増額です。この工事は、以前から取り組んでいる「学校施設環境改善事業」とは別に、市全体で現在検討を進めている、「日立市公共施設トイレ整備計画」に位置付けられる見込みのもので、来年開催される国体の練習会場となる多賀中学校屋内運動場のトイレを整備するものです。

次に、「特別活動学校行事振興事業費」は、かみね市民プールなどで実施する水泳学習実施回数の減に伴い、バス借上料に不用額が生じたもので、75万8千円の減額です。

十王中学校屋内運動場改築事業費は、耐力度調査委託の契約差金の整理で、444万6千円を減額いたします。

次に、「文化財保護事業費」は、西町の日立風流物の欄干などに破損が見つかり、その修繕費として日立郷土芸能保存会に補助する

もので、248万1千円の増額となります。

「運動公園施設整備事業費」は、池の川の教員住宅跡地を市民運動公園駐車場用地として、県から取得するもので、県からの売却額が確定したことに伴い、当初予算からの不足額3,486万5千円を増額するものです。

続きまして、「2 繰越明許費」についてです。

「小学校空調設備整備事業」、「中学校施設整備事業（多賀中学校トイレ改修分）」、「中学校空調設備整備事業」につきましては、12月補正で提案後に着手することに伴い、年度内の事業完了が見込めないことから、それぞれ繰越明許を設定するものです。

「久慈小学校校舎・屋内運動場改築事業」は、新校舎建設の進捗の関係から、既存校舎の解体が当初予定していた年度内に完了しない見込みとなり、その解体経費について繰越明許を設定するものです。

次に、「3 地方債補正（追加）」です。

「空調設備整備事業費」は学校施設等整備事業債が、「中学校施設整備事業費」、これは、多賀中学校屋内運動場のトイレ改修分ですが、災害発生時には屋内運動場が避難所としても活用することから、緊急防災・減災事業債の起債がそれぞれ認められ、その財源を活用するものです。

委 員 「2 繰越明許費」について、久慈小学校の既存校舎解体工事が年度内の完了を見込めなくなった理由を教えてください。

学校施設課長 久慈小学校校舎建設工事の工期は、当初、平成31年2月までを予定しておりました。

しかし、早期に校舎を完成させ、1日でも早い供用開始を図るため、工期を前倒しし、平成30年12月の完成を目途に事業を進めてまいりました。

工期の前倒しができなかった要因の一つとして、昨年12月、敷地に打ち込む約16メートルの杭、約40本の搬入作業があり、この資材を積んだ運搬車両が国道を走行する際、国土交通省の許可を得る必要があり、その許可などで不測の期間を要してしまったことにあります。

結果として、当初の工期どおり、平成31年2月の引渡しとなり、校舎解体2期工事は前倒しによる年度内完了を目指しておりましたが、それが難しくなり、次年度6月頃の完了となることから、今回予算の繰越をお願いしたところです。

今後の事業スケジュールですが、旧校舎解体後の更地となったところに新しい体育館を建設します。新体育館建設後は、旧体育館を解体し、平成32年度中に全ての事業が完了する予定です。

委員 せっかく工期を前倒ししようとしたのに、それができなかったのは大変残念だと思います。

久慈小学校は地盤があまり良くないと聞いていますので、普通のパイルではなく、より長い杭を埋め込まざるを得ないということは理解できますが、そうであるとすれば、運搬に関する許可について、もう少し早く手の打ちようがあったのではないかと思います。

工事の影響は、場合によっては、子どもたちの学習の機会を失わせることにもなりかねません。今後のこともありますので、事業の計画についてはもう少し緻密に進めていただければと思います。

教育部長 委員の御指摘はごもっともでございます。今後の工事におきましては、更に緻密に計画を練って進めてまいりたいと思います。

教育長 それでは、議案第40号について、可決することよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

教育長 議案第40号については、原案可決と決しました。

4 その他

(1) 学校及び児童生徒の表彰等について

教育長 続きまして、その他に移ります。
その他(1)について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 学校の教育活動や、児童生徒が各種大会やコンテスト等で収めた成果に対しまして、多くの賞を受けましたので主なものについて御報告いたします。

まず、学校に対する表彰です。延べ10校が受賞しております。

平成30年度いばらき理科教育推進事業「科学の甲子園ジュニア茨城県大会」におきましては、泉丘中学校と日立一高付属中学校が県教育長賞を受賞しています。

平成30年度動物愛護実践校表彰では、大久保小学校が県知事賞を受賞しています。

第21回げんでん科学技術振興大賞・奨励賞では、坂本中学校がげんでん科学技術振興奨励賞を受賞しています。

続きまして、児童生徒に対する表彰です。

まず、第66回統計グラフ全国コンクールです。このコンクールでは、塙山小学校の千葉 帆花 さんが入選しています。なお、統計グラフの各部門は、特選が1点、入選が9点、佳作が20点で、これらが全国で賞を受ける対象となります。入選となった千葉さんは、全国で10位以内に入ったこととなります。

平成30年度茨城県統計グラフコンクールでは、千葉さんの作品の他にも多くの児童生徒の作品が各賞を受賞しました。

平成30年度いばらき理科教育推進事業「科学の甲子園ジュニア茨城県大会」においては、多賀中学校の安藤 亜蓮 さん、豊浦中学校の天野倉 健人 さんが個人賞を受賞しました。

第62回茨城県児童生徒科学研究作品展においては、坂本中学校の鈴木 誠悟 さんが、県10位相当となる、中学校の部のげんでん財団科学賞を受賞しました。鈴木さんは2年連続の受賞で、日立理科クラブの自由研究クラスに所属して活動しています。

第62回茨城県発明工夫展においては、3点、6名の児童生徒の作品が各賞を受賞しました。

児童生徒の食育推進事業「つくろう料理コンテスト」では、坂本小学校の柴田 亮 さんが小学校の部の最優秀賞を受賞しました。最終選考に残った県内10人の児童の中で1番の成績を収めたこととなります。

第38回全国中学生人権作文コンテスト茨城県大会では、県内約1万8千点の中から、台原中学校の高橋 彩都 さんの作文が優秀賞を受賞しました。

続きまして、部活動における各大会での成績です。

まず、平成30年度茨城県新人体育大会の結果です。団体戦では、女子卓球で泉丘中学校が第2位、女子ソフトテニスで十王中学校が第3位となりました。個人戦では、陸上、柔道、卓球、バドミントン、レスリング、水泳におきまして、延べ12人の生徒が県大会で上位3位以内に入りました。

平成30年度茨城県中学校駅伝競走大会においては、助川中学校が男子の部第7位となりました。

第21回全国小学生クロスカントリー研修大会茨城県予選では、大沼小学校が第1位となりました。このクロスカントリーは、小学生における駅伝競走のような競技と考えていただければと思います。大沼小学校は12月8日、9日に大阪府吹田市の万博記念公園で開催される全国大会に出場します。

(2) NPO法人日立理科クラブの読売教育賞受賞について

教 育 長 それでは次に、その他(2)について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 読売教育賞は、1952年に教育の発展の一助となるよう設けられたもので、主催は読売新聞社です。優れた業績を挙げている教育者や教育団体を広く全国から選び、表彰するものです。

平成21年から続いております日立理科クラブの活動が、本市の子どもたちの科学に対する興味・関心を高めることに貢献したことについて高い評価がされ、理科教育部門において、最優秀賞を受賞したものです。

なお、表彰式は11月16日（金）に読売新聞社本社で行われました。

(3) 日立風流物展示施設等整備検討委員会の進捗状況について

教育長 それでは次に、その他(3)について、郷土博物館長から説明をお願いします。

郷土博物館長 当検討委員会はこれまで4回の会議を開催しておりますが、協議内容の確定には至っていない状況であるため、現在の進捗状況について報告いたします。

第1回は整備の考え方、検討の進め方について協議しました。第2回には先進地視察として、栃木市のとちぎ山車会館と鹿沼市の彫刻屋台展示館を視察し、14人の委員中11人に御参加いただきました。

第3回が保存方法、展示方法について、第4回では、機能、設備、配置等について協議したところです。

この4回の協議により、現在のところの共通認識としておりますのが、次に説明する協議の結果・方向性です。

保存方法については、既存の風流物は4台とも解体保存することと、北町、本町、西町、東町の各支部それぞれに収蔵機能を設けることが検討の方向性となっており、これらを1か所の施設に集中させることで協議を進めております。これについては、山車の保存は解体が原則であるという文化庁の見解と、風流物の構造から、長期展示が可能かどうか、また、安全確保面についても考慮しているところによります。

展示方法につきましては、展示用の実物大の山車を製作することが考えられております。また、その山車や展示施設内では、祭りの臨場感が来場者に伝わるようにしたいとも考えておりますので、来場者が山車の内部を見たり、からくり人形を操作できるような工夫ができないか、検討を続けているところです。

機能、設備につきましては、展示、保存、継承、交流と機能を分けておりますが、これを一体的に整備して、風流物と施設自体の活用を図っていけないか検討しております。

具体的には、収蔵庫を完全に閉鎖するのではなく、来館者が見学できるような作りにすることや、多目的スペースとして、組立・解体や修理などを行う作業エリアとするものの、作業をしていない時は一般客も立ち入れるようにし、団体客の休憩場所にも利用できないかなど、検討を進めております。

今後の予定は、第5回目を11月30日（金）に開催することとなっており、当初の予定では、この会議を最終として、整備基本計画の原案となるものを提案できるようにと努めておりますが、郷土芸能保存会の意見の確認や財源の見極めなど、より丁寧に検討を進める必要がありますので、検討期間の延長も視野に入れているところです。

委員 これまでの4回の協議で展示施設整備に関するある程度の方向性が示されたものかと思えます。ユネスコ無形文化遺産でもありますので、委員会で協議した方向性を尊重して、実現に向け努力を続けていただきたいと思います。

今後の会議で、協議内容の報告書がまとめられるかと思えますが、施設整備の実現に向けて市へどのように働き掛けていくのか、その方法についてお聞かせください。

郷土博物館長 現在、検討委員会では整備に係る原案を作り、それを提案という形で市に提出したいと考えております。

内容については、施設のイメージや規模、整備の目的、機能、展示方法などの基本的な部分を取りまとめたものを考えております。

この計画は風流物の保存活用に関するものではありませんが、新しい施設の整備ということにもなりますので、市全体でこの提案を共有の上、整備計画づくりにいかしていただきたいという考えのもと協議を進めています。

委員 市の計画に対する原案という認識でよろしいでしょうか。ぜひ市に対して積極的に働き掛けを行っていただきたいと思います。

展示施設の場所等についての検討は、委員会内で協議されているのでしょうか。

郷土博物館長 当委員会は、主に風流物の展示活用に関する関係者で構成されております。施設の位置等については市で検討すべきものと考えておりますので、検討委員会内では協議事項とはしておりません。

委員 検討委員会の協議事項ではないとのことですので、ぜひ教育委員会として、施設が観光施設等と有機的な関係が持てるような適切な場所が選定されるよう、市へ働き掛けをしていただきたいと思います。

教育部長 場所については、日立郷土芸能保存会から旧宮田村地内を選定してほしいとの要望をいただいているところです。

今後、設置場所については、検討委員会からの要望を踏まえながら、検討を進めてまいりたいと思います。

(4) 教育委員会関連行事等について

教育長 それでは次に、その他(4)、教育委員会関連行事等について、家庭教育講演会について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 家庭教育の在り方についての理解を深め、本市における家庭の教育力の向上を図るため、子育て中の方や教育関係者を対象に講演会を行うものです。

この事業は、平成27年4月に、現在の子どもセンターである日立製作所日立家庭教育センターが閉鎖されたことに伴い、公益財団法人日立財団から、日立市において「子育て」に関する支援を引き続き行いたいとの申出をいただき、平成27年度から日立財団と市の共催事業として行っています。さらに、今年度は県の教育月間の取組の一つとして県との共催事業としても行っているものです。

講演会は、12月16日(日)、午後1時30分から3時まで、日立シビックセンター音楽ホールで行います。

講師は、東北大学加齢医学研究所教授の瀧 靖之 先生です。先生は、脳のMRI画像のデータベース作成から、脳の発達や加齢のメカニズムを明らかにする研究者として御活躍中で、著書として「生涯健康脳」や「賢い子に育てる究極のコツ」などのほか、テレビ東京「主治医が見つかる診療所」などメディア出演も多数ございます。

演題は、「子どもたちの健やかな脳発達のために」として、主に、子育て中の方や教育関係者などを対象に実施いたします。

5 次回の教育委員会の日程について

教育長 それでは、次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総務課長 平成30年12月21日(金)午後1時30分から、日立市役所
4階庁議室で開催予定です。

6 閉 会

教育長 それでは、以上をもちまして、教育委員会11月定例会を終了し
ます。

以 上